



市長 櫻田 宏

議長 尾崎 寿一

あけましておめでとうございます。  
市民の皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、弘前市総合計画後期基本計画に基づく「健康都市弘前の実現」に向け、各種施策を推進するとともに、県内唯一の「SDGs未来都市」として、「日本一のりんご産業」を将来も持続可能なものとするための様々な取組を実施いたしました。その中でも、官民連携の援農ボランティアツアーは、県内初となる「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」に係る大臣表彰に加え、「ディスカバー農山漁村の宝」優秀賞を受賞しており、さらに、農福学連携の取組では、全国の自治体で初めて「ノウフク・アワード2024」優秀賞を受賞するなど高い評価をいただきました。

本年は、住み慣れた地域で、自分らしく生活することができるよう、若年がん患者の在宅生活に必要な福祉用具の貸与・購入支援を行う取組などを更に進めてまいります。また、宿泊税の導入を目指すとともに、ひろさきガイド学校の受講生などへの支援や、弘前さくらまつり会期中の有料時間設定の見直しを行い、観光客の受入環境を整備し、交流人口の増加と、地域経済の活性化につなげてまいります。

さらに、第二中学校等複合施設が9月頃から新築工事に着手する予定であり、子どもたちの学習環境を整備しながら、学区内の公共施設を集約することで、人口減少社会に対応した新たな地域活動拠点として整備を進めてまいります。

市では、昨年2月、「ゼロカーボンシティひろさき」を宣言いたしました。今後、「産学官民金」の連携による協議会を設立し、地球温暖化防止対策、脱炭素社会の実現に向けて市民や関係機関との協働により取り組んでまいります。

人口減少、少子高齢化が進む中で、地方自治体が存続し、そして発展していくためには、これまで以上に市民の皆様と共に、協働で取り組んでいくことが重要になりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。

新年おめでとうございます。  
市民の皆様方にはお健やかに初春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

平素は市議会に対しまして、深いご理解と格別なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、長期化するロシア・ウクライナ情勢に加え、イスラエル・パレスチナ問題や円安を背景とした物価の高騰等により、市民の皆様の生活に様々な影響が及んだ1年となりました。

また、一人ひとりの暮らし・働き方・価値観の変化や多様化する市民ニーズへの対応、デジタル化や脱炭素化に向けた動きなど、市政を取り巻く課題は複雑・多様化しており、市議会では、日々課題解決に向けて真摯に取り組んでいます。

こうした中で、市議会は、令和5年12月に設置した議会改革特別委員会において、市政の発展と市民福祉のさらなる向上のため、議会の活性化に向けた議論を進めています。

政策立案の面では、昨年3月、地酒等の消費拡大や地産地消を進め、関連する幅広い業種の活性化につなげることを目的とした、「弘前市地酒等による乾杯を推奨する条例」を議員提案により制定しました。

今後も、弘前市ならではの地域課題にスポットを当て、その解決のための政策立案を精力的に行ってまいります。

市議会では、新しい年を迎えましても、弘前市を魅力あふれる住みやすい街にしていくために、市民の皆様の多様な声を議会での議論を通して市政に反映し、監視機能と政策立案機能を高め、二元代表制の一翼を担う議会としての責務を果たしてまいりたいと思っております。

結びに、この1年が、皆様にとりまして健康で幸せの多い年となりますことを心からお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



## 一年を振り返って…

昨年1年間の弘前市の取り組みや出来事を振り返ります。



### 「地域を支える公共交通の人材確保に向けた連携協定」を締結（4月）

公共交通の維持確保に向けて、防衛省自衛隊青森地方協力本部と連携・協力して取り組みます。



### りんごのまち弘前 SDGs 応援ソング認定（6月）

「歌の力」を活かした情報発信を推進するため、りんご娘の楽曲「りんごのうた」を応援ソングに認定。



### ひろさきプロ野球 Week！（7月）

はるか夢球場（豊田2丁目）で、プロ野球一軍公式戦とファーム交流戦の計3試合を開催。



### 弘前城御能（11月）

弘前城に能舞台ができ、公演が行われてから350年を迎えることを記念して開催。



### 日本青森県弘前市文化物産フェア（11月）

台湾の遠東百貨6店舗で、りんごを中心とした物産フェアを開催しました。



### 「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」に係る大臣表彰を受賞（12月）

「農業・観光連携りんご産業活性化事業」の「援農ボランティアツアー」が県内で初の受賞をしました。

## その他の取り組みや出来事

- 大韓航空青森・ソウル線が運航再開（1月）
- りんご生果の機能性表示食品「ひろまる」を販売（1月）
- 「ゼロカーボンシティひろさき」を宣言（2月）
- 弘前お米とくらし応援券を配布（2月）
- 弘前市とセントラルスポーツ株式会社で「健康都市弘前」の実現に向けた連携協定を締結（2月）
- 令和6年青森県広報コンクールで「広報ひろさき」が2連続特選を受賞（2月）
- 各種証明書のコンビニ交付サービススタート（3月）
- 「弘前市子ども家庭センター」スタート（4月）
- 「市社会福祉センター」、「すぱーく弘前」の運営を開始（4月）
- 「弘前れんが倉庫美術館」で市民割を導入（4月）
- 危険ごみの分別収集を開始（4月）
- 田中泰宏副市長が就任（4月）
- JR 東日本地域共創アワード最優秀賞を受賞（4月）
- 「弘前城本丸石垣修理」最終年度の積直し工事を開始（5月）
- ワイン『佐野ぬいラベル』が発売（6月）

- 「涼み処」の運用開始、クーリングシェルターの指定（6月）
- 「健康都市弘前」推進企業認定制度がスタート（7月）
- 弘前市産後ケア事業を開始（7月）
- りんご放任園解消チームを結成（7月）
- 食品ロス削減マッチングサービス「ひろさきタバスケ」の運用開始（8月）
- 弘前れんが倉庫美術館の展覧会「蜷川実花展」「白神視見考」来場者数が5万人を達成（8月）
- 「広報ひろさき」をリニューアル・「ひろさきだより」の創刊（10月）
- 市公式 LINE の運用開始（10月）
- エバー航空 青森・台北線定期便が運行再開（10月）
- 市役所の一部窓口でキャッシュレス決済への対応をスタート（11月）
- 農福学連携の取り組みが全国の自治体で初めて「ノウフク・アワード2024」優秀賞を受賞（11月）
- 「ディスカバー農山漁村の宝」優秀賞を受賞（11月）
- JR 弘前駅開業130周年（12月）